



《教育長メッセージ 第75号》

これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、夏季休業中の教職員研修やさまざまな会議等が中止となる中で、7月、私なりに、50年後をあれこれ空想して、子どもたちの生活を描いてみたものです。

『2070年の文康君の一日』

僕は、伊藤文康、9歳です。

それでは、僕の今日を実況中継します。

今日は、月曜日です。

6:30起床です。

まず、トイレの前に健康チェック台の上に立ちます。すると、身長体重だけでなく、体温、心臓や血液のデータが計測され、異常がなければ登校許可が判断され、その情報が家庭のパソコンに管理され、学校に情報が送信されます。

その後、トイレ、朝食、身支度を済ませ、タブレットだけをバックに入れ、学校に向かいます。

学校は、週に3日通います。登校手段は、透明のシールドの中を歩くか無人のシャトルバスに乗るかが選べます。

学校に行かない日は、事前に計画したカリキュラムに沿って、自宅か公共施設での個別学習となります。いつでもオンラインで学習支援や相談支援を受けることができます。

相模中央市の海老名エリアには、丘の上にソーシャルスクールが3つあって、そこには、0歳から18歳までの人がいます。

僕は、昔、有馬小中学校があった場所に建てられた有馬ソーシャルスクールに通っています。

僕が生まれる前、昔、海老名エリアには、いくつもの保育園や幼稚園、19の小中学校と3つの高校があったそうです。

学校に着くと、まず玄関に通じる除菌室を通過し、IDカードをかざして、校舎に入ります。

朝と帰りは、ホームルームがあり、その日の学習計画の確認とふりかえり学習を行います。

その担当は、AIロボットです。教員の2/3は、AIロボットで、僕の担任は鈴木Tですが、オンラインでの会話やメールで支援を受けていて、一週間に1回、直接会っての面談の時間があります。

ホームルームが終わると、今日の学習計画に従って、学習活動の場所に移動します。

学校での学習活動は、異年齢の集団活動が基本です。

今日は、午前中、社会問題解決プログラムで、自分が選択した「相模川の動植物の再生」をテーマとした活動です。

僕は、18歳のリーダーのもと、6歳、12歳、15歳の5人グループで、カワセミの個体数を増やすための研究をしています。

でも、僕の学校での楽しみは、何と言っても、食堂での昼食です。

今日の昼食は、イタリア料理の有名シェフが作るサラダとパスタ、ピザの食べ放題メニューです。

みんなとワイワイガヤガヤ。スペースが分かれています、スクールの人以外の方々も自由に食事ができるので、食堂は、いつも人がいっぱい混雑しています。

昼食後の休憩時間は、屋内ドームで遊ぶか図書館のゲームエリアで過ごします。

午後のはじまりの前には、ひとりひとりタブレットに手をかざし、健康チェックをしなければなりません。僕は、あそびに夢中になり、時々、忘れてしまうことがあり、タブレットから警告音が鳴ります。まわりに人がいると、ちょっと恥ずかしいです。

今日の午後は、隣接するシニアスクールでの高齢者との交流活動です。ソーシャルスクール内で、2歳までのベビークラスとの交流活動をすることもあります。

シニアスクールでは、ペアシニアと時間を過ごし、その後、グループ活動をします。

今日は、秋のお祭りに披露する大谷歌舞伎の稽古の時間となっています。僕のペアシニアの尾山さんご夫妻は、まだまだ元気で、稽古に熱が入ります。僕も負けずにがんばっています。

シニアスクールの交流活動が終わると今日の僕のスクールでの活動は終了です。

ホームルームに帰って、今日の活動の記録をまとめ、鈴木Tにデータを送信すると、いよいよ下校です。

今日の帰りは無人シャトルバスに乗って、相模国分寺ソーシャルスクールに行って、海老名エリアの合同合唱の練習です。

そこには、仕事を終えた大人たちもやってきます。僕は、夕方には家に帰りますが、夜には、ソーシャルスクールが大人たちの学習・交流の場になります。

家に帰ると、まず、夕飯を食べます。

ランチのように豪華ではありませんが、それはそれで楽しみです。

その後は、寝るまで、自由な時間なのですが、僕は、個別学習の課題が遅れているので、1時間ほど取り組まなければなりません。

24時間、いつでもどこでも、AI学習支援ロボットが個別学習をサポートしますが、僕は、もう少し課題が少なければよいのと思っています。

そして、365日24時間、僕は学校ICTシステムで、危険や災害、病気などから守られているのですが、学習の進み具合や結果がいつも誰かに見られているのは、イヤだなあと感じています。

机の上の、バックの中のタブレットが、僕をいつも見ているようです。

でも、やっぱり、今日も楽しい一日でした。

それでは、早めに、おやすみなさい。

(タブレットが就寝時間を自動で記録して、管理しますから、睡眠時間が短すぎると、明日の朝、登校許可が出ないのです。)

～オマケ～

「ランドセル」

相模国分寺ソーシャルスクール内には、海老名の歴史のことや昔の道具が展示されている温故館があります。普段、学習するときはデジタル温故館の映像や資料を活用しますが、僕はおもしろいのでよく行きます。

その中に、「ランドセル」という道具がありました。おじいちゃんやおばあちゃんは、それに学習の道具を入れて学校に通っていたそうです。

今、僕たちは、防水、抗菌の専用バックにタブレットを入れて、それだけで学校に通います。そのバックは、例えば、シャトルバスに轆かれても壊れない頑丈なものですが、すごく軽いです。

ランドセルを一度、温故館で試しに背負いましたが、背中が変な感じだし、重いのはイヤだなあと感じました。

「タブレット」

僕のタブレットは、3台目です。

一台目は、ベビークラスからソーシャルスクールに入るときにおじいちゃんからプレゼントしてもらったものです。2台目は、6歳の時、海

老名エリアの工場から寄付されて、スクールの全員が新しくなりました。3台目は、今年の9歳の誕生日プレゼントです。自分のお気に入りのタブレットで大好きなドラえもんのシールを貼っています。

「秋葉山ソーシャルスクールの古墳エリア」

僕の通っている有馬ソーシャルスクールでは、シールドで相模川エリアまで行くことができます。

秋葉山ソーシャルスクールには、スクールの中に古墳エリアがあります。今の僕の最高の遊び場所です。休みの日には、友だちと無人シャトルバスでよく行きます。

僕のおじいちゃんやおばあちゃんの頃は、自由に外で遊ぶことができたようですが、お父さんやお母さんの頃に、地球の大気が汚れ、温暖化が進み、大きな自然災害が多発し、さまざまな感染症が流行し、太陽の光を直接浴びることができなくなったそうです。

だから、今、僕は、直接、外で遊ぶことはできなくなっています。

でも、古墳エリアだけは、大きな空気浄化装置や目に見えない大気バリア装置が設置されていて、自由に、自然体験ができるのです。

僕は鳥が好きなので、一日中、鳥たちを観察しているだけで楽しいのです。ちなみに、相模国分寺ソーシャルスクールには、シールドで土手をくぐると水田エリアが広がっています。

「教室と黒板とチョーク」

おじいちゃんの頃の学校は、学年とクラスが分かれていて、教室という場所で、みんなで学習していたそうです。

先生がひとりいて、黒板にチョークという道具で文字や絵をかいていたそうです。

それを、おじいちゃんは、紙に鉛筆で写して覚えたそうです。

今は、僕のタブレットから映像を自由に、学習スペースの好きな場所に映し出すことができ、文字や絵は、自分で入力するか、声を変換するか、専用のペンで表現することができます。

習字や絵画の学習では、学校の筆という専用の道具で学習します。習字や絵画の時間は、けっこうおもしろいです。

黒板とチョークは、時々、昔のアニメで見ますが、その様子から、教室でずっと座ってなければならないことや、いつも黒板の方を向かないといけないことや、先生の話聞いてそれをただ写すだけの学習は、たいくつだろうなと思いました。

そして、今、僕は、50年後の2120年には、どうなっているのだろうと、あれこれ空想して楽しんでいるところです。

次回は、『次代と将来を担う』と題して、子どもたちや若い人たちへの私の思いを述べてみたいと思います。